

電子内視鏡

# EB-530 シリーズスコープ ER-530T

## 取扱説明書 (電気手術器編)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、不測の事故を回避するとともに、  
機器の性能を十分に発揮して、ご使用くださるようお願いいたします。

本製品の正しい操作および使用方法については、「取扱説明書（準備・操作編）」をお読み  
ください。また、本製品の洗浄・消毒・滅菌方法の詳細については、「取扱説明書（洗浄・  
消毒・保管編）」をお読みください。

## 安全についての大切なお知らせ

### 1. 安全

ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。同梱している取扱説明書（「取扱説明書（準備・操作編）」、「取扱説明書（洗浄・消毒・保管編）」および「取扱説明書（電気手術器編）」）に従って、本製品を使用してください。本製品の安全な使用に関する重要事項は、「取扱説明書（準備・操作編）」の「第1章 安全にご使用いただくために」にまとめて説明してあります。

さらに個々の操作や洗浄と消毒（または滅菌）手順における安全上の事項は、それぞれの項目に「▲警告」「▲注意」として示してあります。

### 2. 警告

内視鏡検査、電気手術および内視鏡の洗浄と消毒（または滅菌）を行う上で、安全上特に守っていただかなければならない事項は、「取扱説明書（準備・操作編）」、「取扱説明書（洗浄・消毒・保管編）」および「取扱説明書（電気手術器編）」に「▲警告」「▲注意」として示してあります。取扱説明書に記載されている、すべての警告および注意に従ってください。

#### 警告

この取扱説明書、「取扱説明書（準備・操作編）」および「取扱説明書（洗浄・消毒・保管編）」の内容をよく読んで理解してから使用してください。誤った使用や操作は、患者・術者または装置の近くにいる人を傷つけるおそれがあります。

洗浄と消毒（または滅菌）方法が不適切な場合、患者を傷つけるおそれや感染の原因となるおそれがあります。

誤った使い方をしても機器の損傷だけですむ場合は、「注意」と識別表示してあります。

### 3. 臨床手技について

本製品は、内視鏡の手技について十分なトレーニングを受けた医療従事者がご使用になることを前提としています。この取扱説明書には、臨床手技と内視鏡の技術面に関する記載はありません。

### 4. 電気手術器を用いた処置

電気手術を行う場合は、特に十分な体外での基礎実験を術者自身が行い、スネアワイヤーの締め付け具合・使用回数による処置具の切れ味の変化を習得してから行ってください。

### 5. 操 作

内視鏡は精密機械です。特に挿入部、軟性部、先端部への無理な力や衝撃は故障の原因になるうえ、患者の体内を損傷させることになりかねません。少しでも操作に抵抗を感じたら、それ以上無理をせずにゆっくりと操作してください。

## 目 次

安全についての大切なお知らせ .....	2
はじめに .....	5
表記の規則.....	5
第 11 章 電気手術器（電気メス）を用いた処置 .....	11-1
11.1 高周波焼灼.....	11-2
製品のお問い合わせ窓口について	

## はじめに

この取扱説明書は、EB-530 シリーズスコープ、ER-530T と組み合わせて電気手術器を使用する際の警告、注意を記載しています。

## 表記の規則

この取扱説明書では、操作の説明をわかりやすくするために、本文中で次のような表記の規則を使っています。

### ■ 一般の表記

表 記	説 明
▲	潜在的に、人に危害を与える危険を示す記号です。
▲警告	回避しないと、死亡事故または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
※	注釈や補足を示します。



# 第 11 章 電気手術器（電気メス）を用いた 処置

この取扱説明書は、EB-530 シリーズスコープ、ER-530T と組み合わせて電気手術器を使用する際の警告および注意を記載しています。

11.1 高周波焼灼 .....	11-2
------------------	------

## 第 11 章 電気手術器（電気メス）を用いた処置

### 11.1 高周波焼灼

電気手術器とアクセサリーをそれぞれの添付文書および取扱説明書に従って、準備、点検、接続します。

#### 警告

可燃性ガスの送ガス中は、電気手術器を使用しないでください。発火の原因となるおそれがあります。必要に応じて、二酸化炭素などの不燃性ガスを使用してください。過度の不燃性ガスを使用しないでください。

電気手術器やアクセサリーを使用するときには、ゴム手袋を着用してください。着用しないと、熱傷や感電の原因となるおそれがあります。

ベッドの金属部品などの導電性部分が患者に直接接触しないようにしてください。熱傷の原因となるおそれがあります。

ペースメーカー使用者を電気手術器に近づけないでください。電気手術器により、ペースメーカーが誤作動するおそれがあります。

電気手術を行うときには、内視鏡の先端部から処置具先端を十分に離して使用してください。処置具先端が視野に入った状態で通電してください。内視鏡先端の金属部分に高周波処置具の通電部分が接触しているときは、電気手術器に通電しないでください。熱傷の原因となったり、内視鏡が損傷するおそれがあります。

電気手術器は、各取扱説明書に従って、正しく接続してください。電気手術器の誤接続は、感電事故や熱傷の原因となります。

電気手術器は、電気手術器の取扱説明書に従って、指定の出力範囲で使用してください。漏れ電流により、熱傷の原因となるおそれがあります。

電気手術を行うときは、使用するすべての機器について、製造業者の指示を十分に理解し、各処置具の安全な使用方法に精通している必要があります。

この取扱説明書に記載されていない関連機器は使用しないでください。他の医用機器に接続した内視鏡用付属品と内視鏡を組み合わせると、患者漏れ電流が増加します。

※ 酸素供給を止めた直後は、まだ酸素濃度が高い場合があります。酸素濃度が 20%（大気中程度）になったことを確認してから処置を行ってください。

---

---

---

---

---

## 製品のお問い合わせ窓口について

<製品のお問い合わせ先>

電話番号：**0570-02-7007** (ナビダイヤル)

富士フイルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番30号

電話番号：03-6419-8045

---

製造販売業者 **富士フイルム株式会社**  
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地

販売業者 **富士フイルム メディカル株式会社**  
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番30号